

2023年度第5回理事会報告

開催日時:2024年3月3日(日) 10:00~12:40

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2023年度第5回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、30名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2024年度事業計画案および予算案について

各委員会および地域ブロックから提出された2024年度の事業計画案について、今年度からの変更点を中心に各担当理事より配付資料に基づき説明があった。

2024年度事業計画案を基に作成した2024年度予算案についても、今年度からの変更点を重点的に精査しながら、法人全体の予算額が妥当であるか等の検討をした。

審議の結果、2024年度事業計画案および予算案が満場一致で承認された。

第3号議案 「一般社団法人日本社会福祉学会 基本構想委員会規程」制定について

総務担当木下理事より、学会のあり方検討会を引き継いで2024年度より立ち上げる学会基本構想委員会の規程案について説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 「一般社団法人日本社会福祉学会 委員会規程」の改正について

総務担当木下理事より、2024年度より学会基本構想委員会を常設委員会とするため、「一般社団法人日本社会福祉学会 委員会規程」に追加する必要があるとの説明があり、審議した結果、満場一致で承認された。

第5号議案 2024年度定時社員総会での名誉会員の推挙について

総務担当木下理事より配付資料に基づいて、「一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程」第2条第1項に該当する白澤政和会員、黒木保博会員および牧里毎治会員の3名を名誉会員へ推挙する旨の提議があった。

審議の結果、3名の功績を讃えて名誉会員へ推挙することが満場一致で承認された。

第6号議案 2024年度定時社員総会の議題について

総務担当木下理事より、2024年度定時社員総会の議案書(案)について、配付資料に基づき説明があった。今回の定時社員総会では、例年通りの議題に加えて、次期役員の承認、名誉会員規程の改正、名誉会員への推挙および学会基本構想委員会の発足に関する議案があることを確認した。

審議の結果、2024年度定時社員総会の議題が満場一致で承認された。

第7号議案 全国大会運営委員の委嘱および解嘱について

研究担当伊藤理事より配付資料に基づき説明があり、2024年3月31日付けて、武蔵野大学の委員3名よりその任を解き、2024年4月1日付けて日本福祉大学の委員3名を4号委員から3号委員とすることが満場一致で承認された。また、新たに同志社大学の4名を5号委員に委嘱し、2024年4月1日付けて4号委員とすることが満場一致で承認された。

第8号議案 秋季大会当日投影資料および当日配付資料の事前確認の廃止について

研究担当伊藤理事より、第72回秋季大会では当日発表スライド、ポスター原稿、当日配布資料の事前確認は行わないことが提議され、審議の結果、満場一致で承認された。

第9号議案 地域ブロック内組織の委員への依頼状について

地域ブロック内の委員を務めた会員に対して依頼状(または委嘱状)を発行するか否かについて審議した結果、「一般社団法人日本社会福祉学会委員会規程」第一条に掲載されている常設委員会の委員への委嘱状は本部事務局より発行することとし、地域ブロック内の委員会の委員への委嘱状(または依頼状)の発行に関しては各地域ブロックの裁量に委ねることが満場一致で承認された。

第10号議案 その他(フォーラムの継続可否、特定資産について等)

総務担当木下理事より、2025年度以降のフォーラムの継続および特定資産の継続等について、現体制の任期中にある程度の方針を定めておく必要があるとの説明があった。継続審議とする。

IV. 報告事項

1. 2023年度会員動向

総務担当木下理事より、2023年度の会員動向について報告があった。

2. 2023年度事業報告書および決算書の提出について

総務担当木下理事より、2023年度事業報告書および決算書の提出依頼があった。

3. 第9期役員候補者選挙管理委員会からの報告

第9期役員候補者選挙管理委員会担当の木下理事より、今回の投票率は76.9%で、当選者16名が確定したとの報告があった。

4. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

5. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

6. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より、第72回秋季大会で開催するシンポジウムの企画について、配付資料に基づき報告があった。

7. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、2023年に公刊された研究業績を対象に学会賞推薦図書および論文を募集した結果、学術賞に7点、奨励賞（単著部門）に4点、奨励賞（論文部門）に1点の推薦があったとの報告があった。

8. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当村山理事より、現在進行中の調査案件はないとの報告があった。

9. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事にかわり木下事務局長より、3月4日に「広報委員会だより」通算68号をメール配信し、最近の学会動向について会員への周知を行ったとの報告があった。

10. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、学会史資料調査の第3弾を実施したとの報告があった。

11. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、2024年2月11日（日）に関西地域ブロック第55回若手研究者・院生情報交換会との共催で第4回CS-NETサロンを開催したとの報告があった。

12. 学会のあり方検討会(基本構想委員会)からの報告

総務担当木下理事より、12月28日(木)に委員会を開催し、継続課題について検討したとの報告があった。

14. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック:2024年3月9日(土)に研究大会・シンポジウムを開催する。『北海道社会福祉研究』第44号を年度末にWEB発行する予定である。
- ・東北地域ブロック:記念号となる機関誌20号の発刊作業を進めている。第23回大会を7月28日(日)に東北文教大学にて開催予定である。
- ・関東地域ブロック:3月17日(日)に2023年度研究大会の開催を予定している。
- ・中部地域ブロック:5月19日に春の研究例会として、自由研究発表、大学院生・若手研究者のための勉強会、総会およびシンポジウムの開催を予定している。また、『中部社会福祉学研究』第15号を3月末に発刊予定である。
- ・関西地域ブロック:2023年度年次大会および総会を3月2日(土)に桃山学院大学にて開催した。また、研究支援委員会との共催で2月11日(日)に第55回若手研究者・院生情報交換会を開催した。第56回若手研究者・院生情報交換会は3月17日(土)に大阪公立大学杉本キャンパスにて開催予定である。
- ・中国四国地域ブロック:前回理事会以降、報告事項は特になし。
- ・九州地域ブロック:『九州社会福祉学』第20号(記念号)、2024年度事業計画案および予算案等について検討している。2024年秋に郵便料金の大幅な値上げが予定されており、予算を圧迫することが予想されるため、ブロック運営において深刻な問題となっている。いかに郵送料金を維持または減少できるか、本部および各地域ブロックと情報共有できるよう要望があった。

15. その他(後援依頼、関連団体からの報告、他)

・後援(協賛)依頼について

前回理事会での報告以降、後援依頼への対応なし。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より、研究支援委員会による初期キャリアにある研究者のニーズ調査報告書を踏まえて、日本社会福祉系学会連合で2月1日~29日まで調査を実施したとの報告があった。回答の集計・分析結果は後日報告する予定である。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

報告事項は特になし。

3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より、3月9日(土)に東洋大学白山キャンパスおよびオンライン配信にてシンポジウム「学術の役割を考えるー学問と社会の関係を問い直すための知恵ー」の開催を予定しているとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、3月9日(土)に「なぜ、社会的孤立は問題なのか？」をテーマに公開シンポジウムのオンライン開催を予定しているとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

高良理事より、第7回GEAHSS公開シンポジウム「なぜ日本のジェンダー指数は低いのかー経済、法律、教育、政治の各分野から考える」+「若手」・女性のためのテーマ別ディスカッションが開催されたとの報告があった。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

報告事項は特になし。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

空閑会長より、国家試験、令和6年能登半島地震への対応等を行っているとの報告があった。

議長は、議事終了を告げ、12時40分に理事会を解散した。

以上